

～ 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動 ～

# 草の根ニュース

基地と戦争なくす憲法9条実現政府のために

■本部(東京) : 〒150-0042  
東京都渋谷区宇田川町 19-5 山手マンション 1001  
■電話・ファックス : 03-3461-5758 090-4175-2010(平山基生)  
■メール : kusanone@world.ocn.ne.jp  
■ホームページ : http://www.kusanone.org  
■郵便振替口座: 00190-5-611535 沖縄・日本から米軍基地をなくす  
草の根運動  
米軍基地をなくす全国の会結成促進支援カンパ 大歓迎!

た か え へ の こ

## かけがえのない高江・辺野古を守り 普天間基地と米兵犯罪をなくしましょう!

米日政府の、機動隊自衛隊、「裁判所」の総力を挙げた暴力的新基地建設と  
強姦殺人などの米兵犯罪には、全都道府県国民の決起と、  
全基地閉鎖をめざし、あなたの県(全都道府県)に「基地なくす会」結成で答え、  
国民的力を結集して 新基地建設阻止・米兵犯罪再発防止を実現しましょう!

**全基地閉鎖を掲げる日本沖縄で唯一の個人加盟団体  
米軍基地なくす草の根運動、15周年総会に注目・参加しよう**

10.29 土曜 1時15分、日本大通りビル B1 パークホール

## 日本沖縄の主権回復・憲法実現!



### 94号 目次

総会会場決まる。高江辺野古新基地、米兵犯罪阻止へ (P2)  
全基地リスト(下) (P3-6) 詩 あ・け・み 読者の声 (P7)  
すさまじい神奈川県横須賀米海軍基地調査 (P8)

### 前泊『日米地位協定入門』を学習

草の根運動9月運営委員会は、前泊『本当は  
憲法より大切な日米地位協定入門』(創元社)  
を項目ごとに学習して行くことを決め、第2  
回も共同代表平山知子弁護士が報告しまし  
た。米軍基地居座り、レイプ殺人遺棄事件など  
日本の主権人権平和を侵害している歴史の始ま  
りを学習しました。

### 福岡高裁、政府の代弁者に、翁長沖縄県知事 が敗訴、直ちに最高裁へ上告 自衛隊ヘリまで使い、高江で基地建設、 安倍政権の暴圧つづく

安倍内閣は高江集落を囲むようにして、オスプレイの基  
地建設を500人の機動隊、自衛隊ヘリを投入強行し、県民  
国民の激しい抗議にあっています。政府が法的強行策で翁  
長県知事を提訴した福岡高裁多見谷寿郎裁判長は、政府の  
代弁人に成り下がり「辺野古新基地建設が唯一の解決策」  
と強弁。あべ政治は壊憲による米軍駐留永久化・日本の対  
米属国状態永久化を企図。国民的反撃が必要です。「基地  
なくす」ために「全都道府県に会」を!

# 全基地閉鎖のためには、基地条約と協定を「基地条約十条に基づいて終了通告する」政府樹立が必要です この世論と運動を創り出すためにも、全都道府県に「基地なくす会」を！野党共闘による衆議院選挙必勝を 日本の歴史と国民の命運をかけた政治決戦時代の幕上がる！

かんじ悪いよね 自民党・公明党！アベ政治を許さない！戦争法廃止・立憲主義擁護・集団的自衛権行使撤回の国民代表政治家を必ず押し上げ！

沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動は、本年2016年、創立15年を迎えました。基地のない平和な沖縄をめざす会から発展した草の根運動は、沖縄の基地をなくすためにも、本土の基地をなくすためにも、沖縄県を含む日本国内のある地域からある地域へ基地を移すという考え方では、解決することはありえない、「全土基地方式」の条約協定体系の下にあることを理解できていないし、ありえない非現実的「解決策」でない真の解決策を示しています。沖縄基地をなくすためには、全日本の203の全米軍基地をなくす世論と運動がどうしても必要です。



当面は、日米政府権力が総力を挙げて凶暴に襲い掛かっている高江と辺野古に、新基地を絶対に作らせない全国的な運動を全力を挙げて作り上げることが求められています。

いま、日本の真の独立と主権の回復、憲法9条の実現のため、平和のため、人権、地方自治、民主主義のため、また、対米従属のエネルギー政策の中心である原発から離脱するため、日本の全都道府県に「基地をなくす会」をつくりあげるべきときです。

この15年間、「米軍が日本を守っている」という虚偽の宣伝に国民が洗脳されているこの日本において、運動を絶やすことなく続けてこられたことに確信を持ち、憲法蹂躪の祖国日本の危機にあたって、草の根運動は、歴史的使命を果たすために飛躍することが求められているのです。

## あまり政治には関心を示さずに生きてきた私が

第7回立憲主義と憲法9条を守る新潟県民の集い in 新発田 2016.9.11

「いかそう憲法！ 守ろう9条」 戦後生まれの私は、いままでの日本で、平和を当たり前のように享受し、正直なところ、あまり政治には関心を示さずに生きてきました。しかし、戦後60年の頃に、中国東北部・旧満州開拓民の現地慰霊法要に同行し、遺族の思いをお聴きしながら戦争は二度と起こしてはならないことだと痛感しました。5年前から沖縄の方々との縁が出来、辺野古、東村高江との会に参加をして沖縄の基地問題は、日本全体の問題であることにも気づかせていただきました。戦後70年の昨年6月下旬には、以前から是非尋ねたかったポーランド・アウシュビッツを訪れる縁を得て、改めて強く感じたことがありました。この日本は過去の過ちをまた引き起こす方向に進んでいるのではないかとということです。ドイツが第一次世界大戦で敗れ、多額の債務を負い、その後台頭

## ■■■■ (■■■■ 県■■■■)

してきたヒトラー率いるナチ党が経済発展を旗印に、他国を侵略し始めて第二次世界大戦が起きたように、今の安倍政権を見ていると、アベノミクスを旗印に、安保法案強行可決、オール沖縄で、県知事選、参議院選で示した民意、辺野古への米軍基地移設反対を無視し、東村高江のヘリパッド建設をも強行し、自衛隊の駆けつけ警護等アメリカの侵略戦争に加担していく安倍総理の暴走を誰も諫めず、止めようとしぬ政権与党に失望と危機感を抱いています。戦後、新憲法制定には、いろいろ経緯はあったと思いますが、戦後70年間その憲法によって、日本は戦争をせず、平和を維持し、世界の評価を受けてきたのですよね。平和憲法はしっかりと日本に根付き、今や、日本の心そのものなのではないでしょうか。一昨日、くしくも、村上市地元の中学校を学校評議委員会で訪問し、公開授業を見る機会があり、(7ページに続く)



# すさまじい横須賀米海軍基地などが密集する神奈川県のみ軍基地調査に参加(続)

アジアと全世界をにらむ米海軍横須賀基地

草の根会員

〔92号掲載の横須賀軍港、フェンス外米軍住宅調査に続いて、(編集部)〕3番目の見学地は、小高い丘の上にある、**平和の母子像**(林和枝さん、お子さんら、をモチーフにした像)を見学。新婦人の人達が林さんを題材にした紙芝居を像の前で読み上げて下さり、その場にいた私達は40年前にタイムスリップして、米軍による悲劇を2度と起こしてはならないと思った。雨の中、傘をさしながら聞き入った。

お腹もすき、横須賀 SA で昼食。池子の森、**厚木海軍飛行場**へ向かう、大和市にありながら厚木を名乗ること、そしてここが海軍専用の飛行場だと初めて知った。横須賀港の艦船と大いに関係があるようで、港に船がある時は、この飛行場飛で(仕事がないので)離発着の訓練をしているという。船が出て横須賀港を離れている時は飛行機も出動というので、この飛行場にはないと。厚木飛行場と横須賀港の関係は密接なのだ。飛行場と隣接する公園(ゆりの森)で説明を聞き終わる頃、南上空より影発見、私達の頭すれすれに、日の丸をつけた飛行機が滑走路に向かっていった。本来は飛行訓練を見たくはないが、自分の真上をかすめたとぶ飛行機を間近に見られ、迫力満点だった。右手の方から

エンジン点検の音が鳴りやまず騒音公害だと思った。その音は結構離れているのに響いていた。

最後の**‘キャンプ座間’**へ。飛び地をつなぐトンネルの上にある公園で説明を聞く、この基地のほんの一部の2.3haが返還され、病院や他の施設が造られた。わずかばかりだが、日本国民に有益なものとして使うことができる。広大な面積を占める全国各地にある米軍基地の土地、もっと私達国民が有効に自由に使用したいものだ。

このツアーは毎年4月28日に実施されていて、今回で複数回参加したという方もおられた。基地や平和を希求する場所に、一日で回れる企画はすばらしい。横須賀港では、すぐ近くで本物が見られ、すごい醍醐味だった。一人では不可能だ。自分の知らないことが本当に多いことを実感し現実を知れば知るほど、米や日本政府のやっていることの不正が見えてくる。米軍と自衛隊の密着ぶりにも今回驚かされた。あの法律が通る前から長年積み重ねられてきているんだな、と思った。しかし、同じバスに乗り合わせた人達のたくましさにも勇気づけられた。有意義な一日をありがとうございました。

(県市)

**編集後記** 草の根運動創立15周年記念 2016年総会を前にして、急いで、本号を編集しました。

2000年7月の沖縄サミットを機に「米軍基地をなくす意見広告運動」を立ち上げ、その結集力を基礎に、米軍基地をなくす草の根運動は、2001年に発足しました。発足時から、基地をなくす全国組織を目指していましたが、あっという間に10年余がたちました。「米軍基地をなくす個人加盟の全国団体」を作るということは、あまりに当たり前のことですが、個々の基地に反対する運動あるいは、ある地域から基地をなくす運動は、全国に作られています。また、「平和」という視点から基地反対の運動を続けている団体もあります。しかし、日本の主権、独立という視点から、日本全体の203の基地をなくすことを掲げている個人加盟団体は、残念ながら、また不思議なことに、この「草の根運動」しかありません。

93号と94号に日本の全基地リストを掲載しました。このリストは、今はこの草の根運動にしか見ることができなくなっています。防衛省は、日本沖縄の基地の実態を隠し、国民に誤った情報を与えて、基地をなくす国民的運動を起こすことを阻止しようとしてきましたし今も全力を挙げています。「北」や中国の脅威宣伝もまた国民洗脳のためのものです。安倍内閣によって行われている戦争法強行も、新基地建設強行も、壊憲策動もすべて、日本の永久対米属国化、「侵略的従属国」化の動きです。祖国日本はいまそういう危機の中にあるのです。立ち上がるべき時は、今です。草の根運動へのご参加を！